

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

(生命理工学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講師： 順天堂大学大学院医学研究科・神経機能構造学

小池 正人 先生

演題： 中枢神経系におけるオートファジー・リソソーム

タンパク質分解系の役割とその破綻について：

より一般的な神経変性疾患を理解するための希少疾患研究

日時： 平成26年11月27日(木) 17時00分～18時30分

場所： M&Dタワー 21階 大学院講義室1

内容：

私たちは、最も重篤な神経性セロイドリポフスチン蓄積症(NCL)のモデルであるカテプシンD欠損マウスの解析を行っており、最近NCLとパーキンソン病モデルであるATP13A2欠損マウスとの比較解析を行ったので紹介する。加えて、私が室長を兼務する形態解析イメージング研究室での電子顕微鏡研究支援の取組み、特に本年度のユトレヒト大学でのサバティカルを通して得たCLEMラボ創設への展望についても紹介したい。

担当：硬組織構造生物学分野

連絡先：高野吉郎 内線 5439